

第14回港北オープンガーデン実施報告



港北オープンガーデン運営委員会
リーダー 中村 文太郎

I 第14回港北オープンガーデンについて

1 実施概要

(1) 開催日時

令和8年4月17日(金)～19日(日)

令和8年5月8日(金)～10日(日)

各日 10時～16時

(2) 参加会場数

147会場(個人のお庭:62会場/コミュニティ花壇:85会場)

(3) 主催

港北オープンガーデン運営委員会/港北区役所

(事務局:港北区役所区政推進課)



パンフレット(表紙)

2 開催状況

	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
開催日数(4・5月)	6日間	6日間	6日間	6日間	6日間
会場数	122会場	126会場	138会場	144会場	147会場
来場者数	のべ 約29,646人	のべ 約35,757人	のべ 約42,973人	のべ 約42,936人	のべ 約48,250人
(総カウント会場数)	(37会場)	(37会場)	(56会場)	(50会場)	(55会場)

第14回詳細	4月			4月計	5月			5月計	計
	17日(金)	18日(土)	19日(日)		8日(金)	9日(土)	10日(日)		
天気	晴れのち曇り	曇りのち晴れ	曇り		曇り	曇りのち晴れ	晴れ		
カウント 会場数	48	50	47		46	47	47		
公開会場数	126	128	125		126	126	126		
来場者数	2,315	4,416	4,231	10,962	2,010	2,757	2,652	7,419	18,381

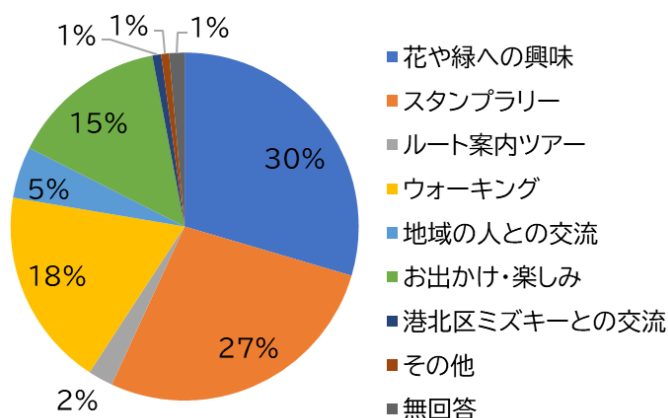
▶参加者数の算出方法・・・18,381人÷48会場(平均カウント会場数)×126会場(平均公開会場数)=48250.125人

3 参加者向けアンケート結果(サンプル数:1,120 件)

〈総評〉

1. 地域密着型イベントとして定着:参加者の約9割が市内在住で、地域に根差した春の風物詩として親しまれている。
2. リピーターの増加が顕著:参加者・会場オーナーともにリピーターが増加し、イベントの認知度が向上している。
3. 家族連れの来場が増加:家族や子供連れでの参加が増え、幅広い世代に親しまれるイベントとして広がっている。
4. 交流と発見の場として機能:地域住民との交流や新たなお出かけスポットの発見が、参加者の満足度に貢献。
5. 企画と開催時期に課題も:スタンプラリーが景品獲得を目的とした参加に偏り、本来の楽しみ方が薄れているため見直しが必要である。また、気候変動による花の見頃のずれに対応した開催時期の調整が求められる。

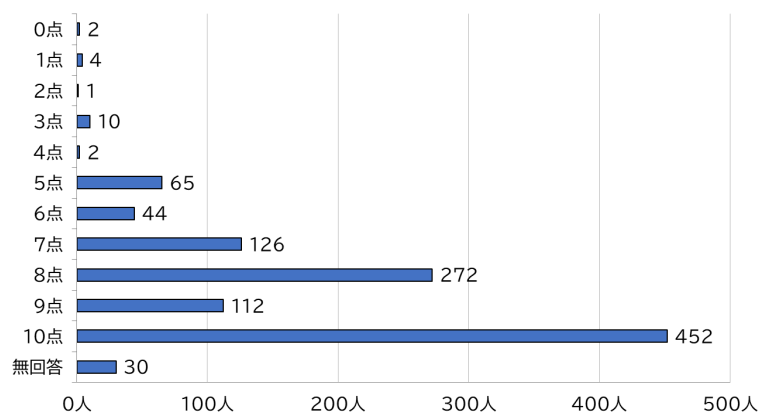
(1) 本イベントには何を目的に参加しましたか？(複数回答可)



昨年同様「花や緑への興味」と回答した人が3割と最も多く、毎年恒例の「スタンプラリー」企画以外にも、「ウォーキング」や「地域の人との交流」、「お出かけ・楽しみ」を目的に参加している人が合わせて4割近くを占めました。

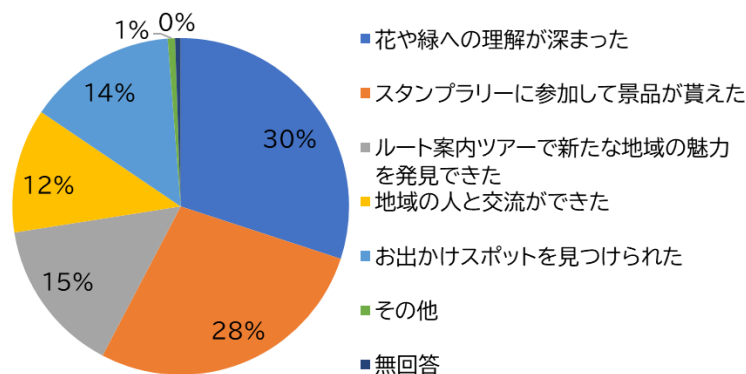
また今年は、子ども連れの家族や、愛犬とともに巡る参加者の姿も多く見られました。

(2) 本イベントをご家族やご友人にもおすすめしたいですか？当てはまる数値に○を付けてください。



アンケート回答者の7割が「8点」以上と回答していることから、イベントへの満足度の高さがうかがえます。「8点」以上の理由として「綺麗な花に癒されながら、いい運動にもなる」、「地元の魅力再発見」、「地域の方との交流が楽しかった」等の意見があり、パンフレットを片手に会場を巡る参加者の姿は、すっかり港北区の春の風物詩となっています。

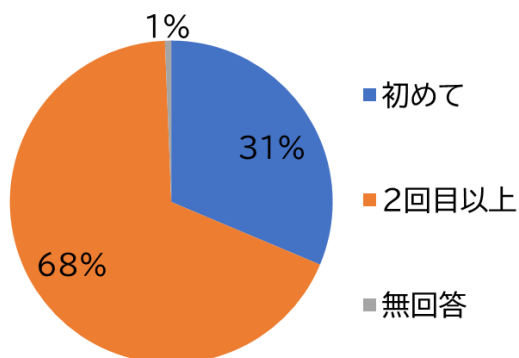
(3) 本イベントに参加してよかったことは何ですか？(複数回答可)



「花や緑への理解が深まった」と回答した方が3割と最も多く、「ルート案内ツアー」と「地域の人との交流」、「お出かけスポットを見つけられた」が全体の約4割となっており、港北区の魅力の再発見や地域の人との交流が生まれていることが分かります。

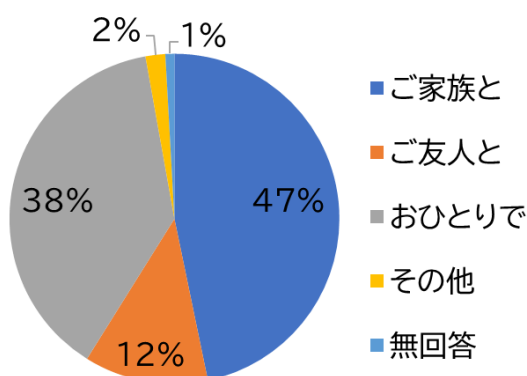
また、「その他」の回答として「運動になった」、「歩く楽しみが増えた」等の意見があり、イベントを通して健康意識の向上にも寄与していることが確認できました。

(4) 本イベントへの参加は何回目ですか？



リピーターの参加が約7割を占めており、地域のイベントとして根付いていることが分かります。一方で、初めて参加した方も3割を超え、昨年より増加しています。初参加の方の中には、横浜市外からの来場者も多く見られました。次回も幅広い年代の方々が楽しめる企画を実施します。

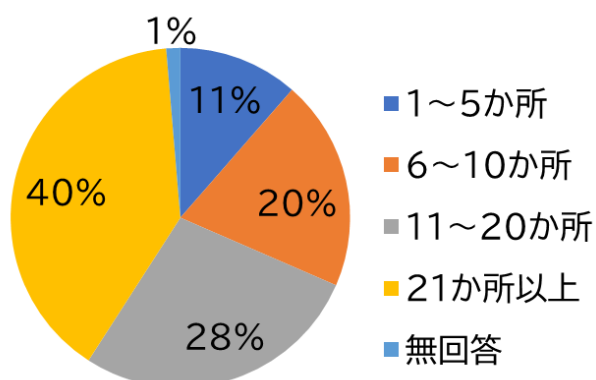
(5) 今日はどなたというっしゃいましたか？



「家族」や「友人」と参加した人が回答者全体の約6割を占める一方、4割近くが「ひとり」で参加したとの回答がありました。多様な参加形態で楽しめるイベントであることがうかがえます。

また、「その他」の回答として、「愛犬と」や「仕事仲間」と一緒に参加している人もいました。

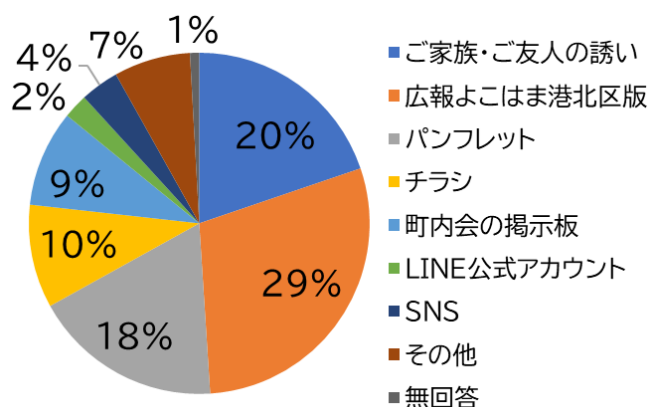
(6) 何か所のお庭を回りましたか？



「11～20 か所」、「21 か所以上」と回答した人の割合は、昨年の 49%から 68%へと増加しました。これは、スタンプ設置会場を巡ることで景品がもらえる企画で、スタンプの数を増やしたことに加え、景品のタウンクタウンポーチが人気だったことが影響していると考えられます。

また、会場数も144 会場から147 会場へと増加したことにより、より多くの会場を訪れる参加者が増え、年々巡る会場数が増えていることがうかがえます。

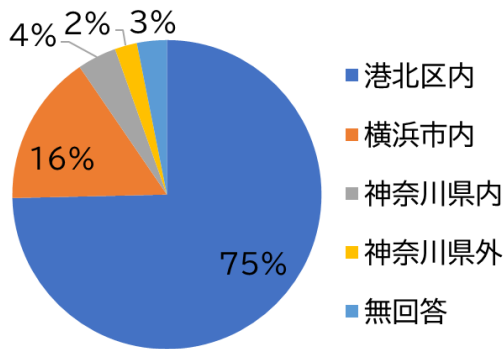
(7) 本イベントを何で知りましたか？(複数回答可)



半数近くが「家族・友人の誘い」や「広報よこはま港北区版」でイベントの情報を入手しており、口コミや広報誌をきっかけにイベントに参加していることが分かります。

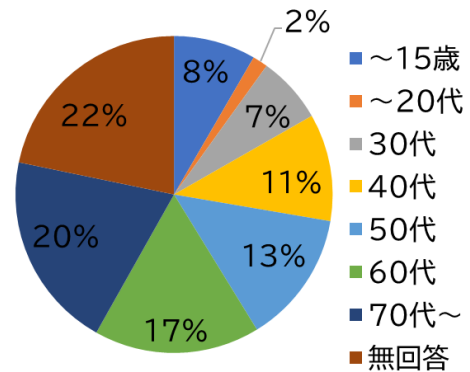
また、「その他」の意見として、区内全小学校 26 校に配布した「チラシ」や「よこはまウォーキングポイント」、「駅前」、「ボランティア活動にて」といった意見もありました。

(8-1) お住まい



「港北区内」と「横浜市内」の参加が9割にのぼり、年々イベントが地域に根付いていることが分かります。「神奈川県内」や「神奈川県外」と回答した人では「川崎市」や「東京都」等の近隣地区からの参加以外にも、「小田原市」や「千葉県」、「埼玉県」、中には「静岡県」や「兵庫県」や「ブラジル」と回答した人もいました。

(8-2) 年齢



「50代」「60代」「70代～」が全体の5割を占めており、若い世代の参加が伸び悩んでいる状況です。一方で、アンケートは保護者が記入している場合も多く、実際には親子での参加が多く見受けられました。引き続き、幅広い年代の方々に楽しんでいただける企画を検討していきます。

■ご感想・ご意見■(一部抜粋)

<イベント全体>

- ・大倉山在住 32 年ながら初参加、とても素晴らしく来年も参加したいと思います。ボランティアの方に最大の感謝。
- ・なかなか通らない住宅街や、知っているつもりのもので、迷いつつ新しい発見がありました。
- ・毎年気になっていて初参加しました～。また、参加したいです！
- ・お花好きの方々と交流もでき、とても楽しくウォーキングもできました。
- ・瀬谷区、旭区のオープンガーデンに行きました。港北区は毎年驚きがあるので、また来年もお願いします。
- ・秋も開催してもらえたら嬉しいです。
- ・毎年家族で楽しみにしています。
- ・沢山のお花を子どもと一緒に見ながら、地域の場所を知れてとてもよかったです。来年も楽しみにしています！
- ・天気もよく、楽しい散歩になりました。ありがとうございます。
- ・普段行かないところも行けたので面白かったです。もう少し期間が長いと嬉しいです。
- ・暑さ対策のため、もっと朝早くからやってほしいです。
- ・会場場所に立っている旗の色が薄くて分かりづらかったので、改善してほしいです。
- ・天候にも恵まれて、とてもリフレッシュできました。
- ・年々大がかりなイベントになり大変だと思います。本当にお疲れ様です。これからもよろしくお願いします。

<花・花壇>

- ・花壇づくりの面白さや素晴らしさを感じた。
- ・花の名前や育て方を教えてもらえて勉強になった。
- ・今年の5月はバラがとても美しかったです！
- ・花の名前が書いてあるといいなと。印刷したものを渡してくださるお宅があり、勉強になりました。また来年も元気に参加したいです。

- ・日吉公園など行ったことがない所を新発見できて良かったです。
- ・山本さんのバラ庭がとてもきれいでした！来年も楽しみにしています！
- ・花香る美容室さんで作品や飴を頂けて嬉しかったです。
- ・真島さん宅で楽しくお花を見ることができました。子どもにお土産までありがとうございます。
- ・ミミズコンポスト等の取組をしている方がいて、素敵だなと思いました。
- ・山本さんのお庭は毎年楽しみにしています。メダカのお宅もよかったです。川名さんには子どもに優しく色々と教えていただきありがたかったです。学びがありました。
- ・会場が増えて嬉しい、小さな公園も花がキレイでとても素敵でした。
- ・日吉山荘が不参加は残念！来年は期待しています。
- ・我が家はマンションなのでお庭が羨ましいです。
- ・物騒な世の中ですが、ご自宅を開放してくださる皆様に感謝しております！
- ・きれいに手入れされた花壇に癒しをもらえました。4月・5月と花が変わるので楽しみが増えます。スタッフの皆様、お身体にお気をつけて頑張ってください。

<スタンプラリー>

- ・すべての会場にスタンプを置いてほしい！
- ・スタンプの紐が短い！
- ・ポーチがすぐに壊れました。
- ・ベビーカーで行きにくい場所のスタンプがある。
- ・景品は花の種や入浴剤の頃がよかったです。
- ・タオルをもらえて嬉しかったです。来年は、ピンク、グリーン(黄緑)、水色から選べたらいいなと思います。
- ・プレゼントやご準備ご苦労様でした。
- ・ご協力いただいた方に感謝します。またスタンプラリーをやりたいです。

<ルート案内ツアー>

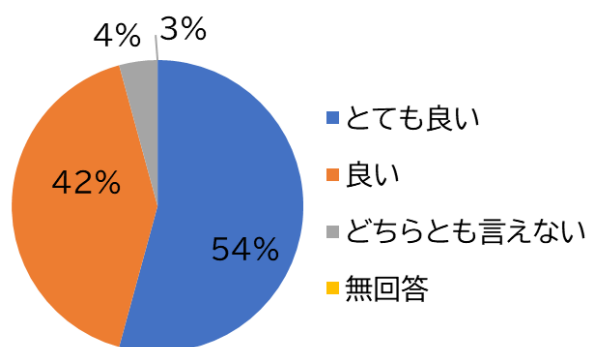
- ・ガイドさんの花の知識に感動しました。
- ・日吉ツアーの内田さんのお話が今回も素晴らしかった。
- ・ツアー15分前に行ったけどすぐにいっぱいに参加できませんでした。
- ・ツアー、ガイド大変ですがもう少し回数を増やしてほしい。
- ・和気あいあいとよかったです。
- ・新横浜周辺のことを知れてよかったです。
- ・日吉の丘公園など知らなかった見どころをご案内してくださり、とても良かったです。
- ・とても気持ちが良く歩くことができました。ありがとうございました。

<パンフレット>

- ・地図が分かりにくい。
- ・子どもと一緒に休憩できる店等の情報が増えると嬉しいです。
- ・他区のイベントでも手に入るとよいと思う。
- ・一人一冊の周知が改めて必要ではないか？

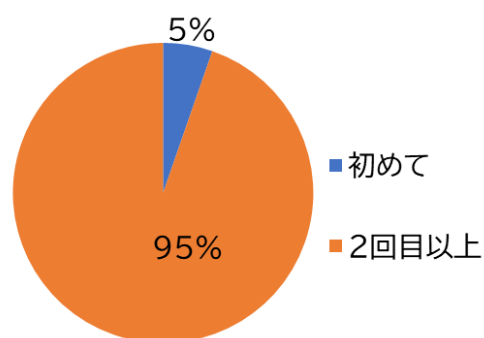
4 参加会場オーナー向けアンケート結果(サンプル数:94 会場)

(1) 本イベントはいかがでしたか？



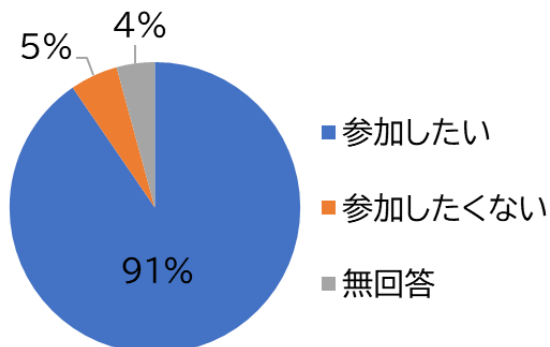
「とても良い」と回答した会場の割合は、昨年度の43%から54%へと増加しました。全体としても、参加会場の9割以上がイベントに満足しており、「悪い」と回答した会場はありませんでした。

(2) 本イベントへの参加は何回目ですか？



回答した会場の9割以上が2回目以上の参加となっており、参加者と同様リピーターの多さがうかがえます。次回も「また参加したい」と思っただけよう、企画の改善等を検討します。

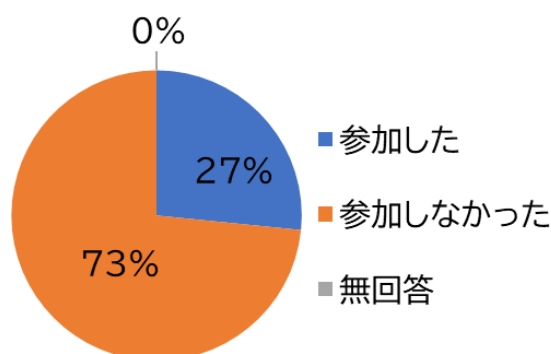
(3) 次回も参加したいですか？



アンケートに回答した9割の会場から、次回も「参加したい」と回答いただきました。回答理由として「来場者の喜んでいる顔が見られるから」、「施設を知ってもらえるいい機会だから」、「老後の楽しみの一つだから」、「地域の活性化に繋がるから」等がありました。

また、「参加したくない」と回答した会場の理由として「作業者の高齢化」、「負担が大きい」等がありました。

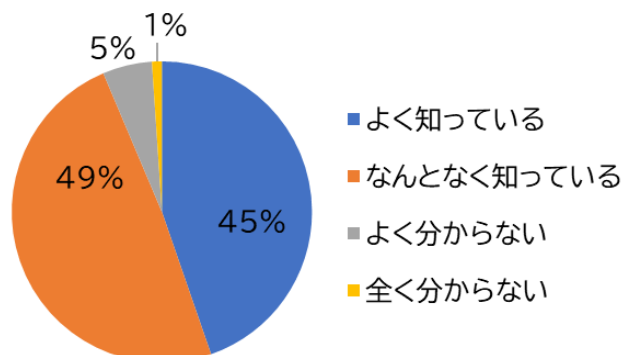
(4) 3月20日に開催した参加会場向け交流会に参加しましたか？



アンケートに回答した約3割が横浜情報文化センターでの参加会場交流会に参加しました。今回は特別企画として、園芸家の杉井志織氏による講演会を実施し、一般の方にも多数参加いただきました。

交流会では、「参加会場の頑張りや工夫を知れた」、「近所の方の顔が見られてよかった」、「東急のみどりリンクの情報が参考になった」等の意見がありました。

(5) 2027年3月19日～9月26日に行われる横浜グリーンエキスポがどんなイベントか知っていますか？



「よく知っている」、「なんとなく知っている」と回答した会場は、昨年の81%から94%へと増加しました。開催まで1年を切った中、オープンガーデンを契機として横浜グリーンエキスポへの来場意欲の向上につながるよう、今後も連携の強化を図っていきます。

■ご感想・ご意見■(抜粋)

<イベント全体>

- ・お天気に恵まれたので昨年より多くの方に見ただけで、良かったです。
- ・いつもオープンガーデン関係者の皆様の熱意に感謝しております。
- ・心と足を止めたくなるような街の花壇、手入れをされている人たちの優しさを感じます。
- ・西東京エリアから来た人にイベントの充実ぶりを「素敵で羨ましい」とコメントされ、嬉しい気持ちになりました。
- ・他の参加会場の見学ができなかったのが残念。
- ・オープンガーデン時のみならず、花植え活動を継続していきたいと感じました。
- ・4月と5月の開催の間をもう少し空けてほしいです。
- ・GW から日にちが近かったせいか、来場者が少なかったです。5月のみの会場なので少し残念でした。
- ・各会場での花の都合もあるかと思いますが、5月のオープンガーデンは今回同様、来年も上旬を希望します。
- ・毎年このイベントを楽しみに待って、遠方から来てくださる方が増えていると感じています。
- ・公園愛護会関係者として港北区の PR に少しでも参加できることは、この上ない健康のためになっています。
- ・街に温かな空気が流れる、素敵なイベントだと思います。
- ・運営委員の皆様ご苦労様でした。

<花・花壇>

- ・4月のチューリップは終わってしまいましたが、パンジー、ビオラ、ハナミズキ、モッコウバラ等、5月はサフィニア、カンパニュラ、ゼラニウム等見事に咲いてくれホッとしました。
- ・今回、来場者へ感想文を書いてもらい、感動しました。
- ・今年は天候に恵まれ、5月はバラの時期にぴったりの日でした。庭もバラが咲くといっきに華やかになり皆様に喜んでもらえたと思います。
- ・バラはやはり GW が見頃です。年々気温が高くなり、見頃をイベントに合わせるのが大変でした。
- ・年々温暖化の影響もあり、お花の開花時期のピークが早まっているように感じるため、開催時期も1～2週間早めてほしいです。

<スタンプラリー>

- ・景品交換所を新横浜エリアにも設置してほしいです。
- ・幅広い年代の参加者が楽しんでいました。来場の動機づけや周遊促進に効果的であったと思います。
- ・参加会場が増えて集客数が多くなる一方で、景品獲得のための観客が目につき、参加会場として不快に思う方もいるのではないかと懸念しています。
- ・スタンプ集めが目的になって、どうしてもスタンプがあるところに行きがち。
- ・スタンプラリーの個数が少し多い気がします。
- ・テーブルがスタンプまみれになり使い物にならなくなった。

<その他>

- ・来場者数カウント用紙について、記入の仕方が分からない人が多くいた。
- ・のぼりの色合いが淡白であまり目立たないため、もう少し強めの色合いにしてほしい。
- ・横浜グリーンエキスポにオープンガーデンが繋がっていてほしい。

5 様々な取組

(1) 特設案内所の設置

パンフレットの配布やスタンプラリーの景品交換のほか、各会場の見どころや行き方を案内する特設案内所を区内3か所(日吉駅、りそな銀行綱島支店横、大倉山駅)に設置しました。特設案内所に立ち寄った小学生以下のお子さまに、先着で港北区ミズキのシールをプレゼントしたり、横浜グリーンエキスポのPRを行ったりする等、地域ボランティアの方々と一緒に様々な取組を実施しました。



日吉駅



りそな銀行綱島支店横



大倉山駅



横浜グリーンエキスポのPRの様子

(2) ルート案内ツアー(日吉・綱島・大倉山・菊名・新横浜)

4月18日(土)・19日(日)、5月9日(土)・10日(日)の4日間で、日吉エリア・綱島エリア・大倉山エリア・菊名エリア・新横浜エリアそれぞれの会場をボランティアガイドと一緒に巡る、ルート案内ツアーを実施しました。

今年は初めて新横浜エリアでツアーを実施し、参加受付の開始前から列ができるほど大盛況でした。どのツアーでも参加者はガイドの話を耳を傾けながら会場を巡り、立ち寄った会場ではオーナーの話を聞きながら熱心にメモを取る等していました。また、今年もツアー時に配布するレジュメを区ウェブサイトに掲載することで、ツアーに参加できなくても会場を巡ることができるよう工夫しました。



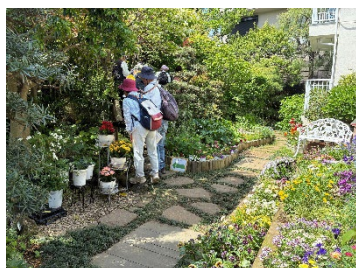
日吉ツアー



綱島ツアー



大倉山ツアー



菊名ツアー



新横浜ツアー

(3) スタンプラリー

幅広い年齢層に参加していただくため、ガーデンネックレス横浜のキャラクター「ガーデンベア」と港北区のマスコットキャラクター「港北区ミズキー」がコラボレーションしたスタンプラリーを実施しました。区内特設案内所3か所と97会場の計100か所にスタンプを設置し、先着で素敵な景品がもらえる企画を実施した結果、子どもから大人まで多くの方に楽しんでいただきました。

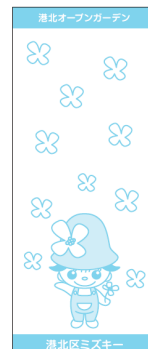
スタンプ5個で港北区ミズキーのメモ帳、15個でトゥンクトゥンクポーチ、25個で港北区ミズキーのタオル(水色かオレンジ色)を景品とし、いずれか1つのみ交換可能としました。



ミズキーメモ帳(スタンプ5個)



トゥンクトゥンクポーチ(スタンプ15個)



ミズキータオル(スタンプ25個)

(4) 市内産野菜や花の直売会

イベントの開催日および港北区役所の土曜開庁日に合わせ、区役所中庭にて JA 横浜協力のもと市内産の新鮮な野菜や花を販売する直売会を実施しました。瑞々しく甘みのあるトマトや新玉ねぎなどの旬の野菜をはじめ、神奈川県産のカットわかめや芽ひじき、そら豆など、多彩な品々が並びました。さらに、花や野菜の苗も豊富に取り揃えられ、区役所を訪れた方や夕飯の食材を求めて来場された方など、多くの方にお越しいただきました。本直売会は、地産地消の取組を広く紹介する良い機会となりました。



直売会の様子

(5) キッチンカーの出店

イベントの開催日に合わせて、区役所中庭にて LUNG TA(ルンタ)様協力のもと、本格的なエスニック料理が楽しめるキッチンカーを出店しました。

当日は、イベント来場者だけでなく、通りすがりの方や、区役所職員も立ち寄り、賑わいを見せていました。特に若年層の来店が多く見られ、普段区役所を訪れる機会の少ない層にも足を運んでいただくきっかけとなりました。



キッチンカーの様子

(6) オープンガーデンフォトコンテスト

来場者が写真撮影を通じて庭や花壇の魅力に親しみ、共感や交流を生み出し、地域のつながりを深めることを目的としてフォトコンテストを初開催しました。応募作品数は 45 点となりました。結果については、8月頃に区ウェブサイト等で入賞者を発表する予定です。入賞者には、図書カードやミズキグッズなどをプレゼントします。

(7) オープンガーデン開催4区の連携

昨年に引き続き、市内でオープンガーデンを開催している旭、港北、栄、瀬谷の4区が連携し、市庁舎1階の展示スペースにて、令和8年4月8日(水)～21 日(火)に各区の会場の写真を収めたタペストリーやオブジェ等を展示し、市内の各地域の皆様が心を込めて手入れをしているお庭や花壇の魅力を発信しました。

また、よこはまウォーキングポイントアプリで、旭、港北、栄、瀬谷区のうち3区以上のスタンプラリーに参加した人に、オリジナルポーチをプレゼントする企画を実施しました。



市庁舎展示の様子



オリジナルポーチ

6 参加会場交流会

横浜グリーンエキスポ開催1年前を記念した特別企画として、3月20日(金・祝)に横浜情報文化センターの情文ホールで、園芸家の杉井志織氏による講演会とオープンガーデン運営委員による参加会場交流会を開催しました。当日は、一般参加も含め約 120 人が参加し、会場は大いに賑わいました。

講演会では、日々の園芸を楽しむコツや夏を乗り切るための工夫など、杉井志織氏ならではの楽しく実践的なお話が多数紹介されました。質疑応答の時間も大変盛り上がり、参加者の関心の高さがうかがえました。

交流会では、日頃の庭の手入れやイベントに向けた準備などについて情報交換が行われ、参加者同士がガーデニングの話題に花を咲かせるなど、和やかなひとときとなりました。



杉井志織氏による講演会



交流会の様子

7 広報・PR活動等

令和7年	10月	記者発表「第14 回港北オープンガーデン」の参加会場を募集します！ 区ウェブサイトイベントの開催概要を掲載 区公式X(旧Twitter)や、運営委員によるFacebook・Instagram投稿により情報発信 (以降適宜更新、投稿)
	11月	広報よこはま港北区版11月号掲載(参加会場申込開始)
令和8年	2月	イベントチラシ(A4版片面・4,000 部)を配布(自治会・町内会の掲示版に掲示等)
	3月	記者発表「第14 回港北オープンガーデンを開催します！」
		パンフレット(B5版36ページ・12,000 部)を作成し、参加会場、港北区役所、区内地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウス、コミュニティスクール、港北図書館、鉄道駅、行政サービスコーナー等で配布開始
		YOU テレビ『地域情報番組 My YOU!』にて3月30日から1週間、港北オープンガーデンを紹介
	4月	広報よこはま港北区版4月号特集掲載(開催のお知らせ)
		区内小学校全児童(1～6年生)へのイベントチラシの配布(20,500部)
		市内各区で開催されるオープンガーデンの市庁舎展示(4月8日～21日)
		YOU テレビ『地域情報番組 My YOU!』にて4月27日から1週間、港北オープンガーデンを紹介
	5月	イッツコム『地モト NEWS』の5月6日放送番組内にて港北オープンガーデンを紹介

8 広告・協賛

開催にあたり、企業・団体の皆様より、ご協賛いただきました。ありがとうございました。

師岡熊野神社様、株式会社サカタのタネ様、グレイスホテル株式会社様、山王体育館剣道クラブ様、城南信用金庫綱島支店様、綱島商店街協同組合様、奈良造園土木株式会社様、企業組合プランツヘルパーすこっぷ様、りそな銀行綱島支店様

9 メディア(敬称略)

今年も多くメディアに取り上げていただきました。

横浜日吉新聞 新横浜新聞、タウンニュース、ケーブルテレビ・イッツコム、ケーブルテレビ・YOU テレビ

10 その他協力

- ・特設案内所の設置にあたり、東急電鉄株式会社様、りそな銀行綱島支店様にご協力いただきました。
- ・株式会社ハルディン様より、花苗をご提供いただき、各参加会場において活用させていただきました。

Ⅱ 港北オープンガーデンについて

1 花と緑のまちづくり

港北区は、街中や住宅街でも身近に花や緑を感じられる街として、多くの区民の皆様にも愛されています。私たちは、港北オープンガーデンを通じて、より多くの皆様にこの街の魅力を感じていただくとともに、ガーデニングや街の緑化に取り組まれている皆様と手を携え、つながりを深めながら、花と緑にあふれる港北区の魅力をいっそう育んでいくことを目指し、「花と緑のまちづくり」をテーマに掲げています。

2 港北オープンガーデンの特色

イギリス発祥の「オープンガーデン」は、地域の人々が丹精込めて手入れをしているお庭や花壇を一般に開放し、訪れた人との交流を深めながら季節の植物を楽しむイベントです。「港北オープンガーデン」は、個人のお庭に加え、商店街・公園・区民利用施設・学校等、ボランティアの皆様が育てているコミュニティ花壇も会場として一緒に巡り、楽しんでいただく点が特色です。

3 港北オープンガーデンの歴史

平成25年5月によこはま緑の推進団体港北区連絡会と港北区役所が連携して第1回を開催して以来、見学者数を着実に増やしながら、皆様に親しまれるイベントとして成長してきました。

第2回からは区民ボランティアと港北区役所のメンバーで構成する「港北オープンガーデン運営委員会」を設立し、企画や準備等、多くの皆様に様々な形で支えられながら、より地域に根ざしたイベントを目指して、運営を行っています。

第1回 (平成25年度)	・試行的実施 ・会場は綱島駅周辺に集中
第2回 (平成26年度)	・日吉を中心に、会場数の大幅増 ・情報コーナー(ナイス綱島)を新設(第6回まで)
第3回 (平成27年度)	・大倉山を中心に区南部の会場数の増 ・案内所・情報コーナー(ナイス菊名)を新設(第6回まで)
第4回 (平成28年度)	・大倉山・新横浜エリアに会場数の増 ・日吉ルート案内ツアーを初めて実施
第5回 (平成29年度)	・新羽エリアをはじめ、各エリアで会場数の増 ・パンフレットのページ数・発行部数を増やし、アプリをダウンロードするとPR動画を鑑賞することができる等、内容を充実
第6回 (平成30年度)	・日吉ルート案内ツアーの充実(午前・午後とルートを分けてパンフレットに掲載) ・交流会にて瀬谷区オープンガーデンの見学バスツアーの実施
第7回 (令和元年度)	・大倉山・大曽根エリアをはじめ、各エリアで会場の増 ・英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」、港北区のマスコット「港北区ミズキー」とコラボレーションしたスタンプラリー・グリーンティング(着ぐるみとの写真撮影)の実施 ・交流会にてハンギングバスケット講習を実施
第8回 (令和2年度)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
第9回 (令和3年度)	・港北オープンガーデンの公式YouTubeチャンネルを立ち上げ初の動画配信 ・英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」とコラボレーションしたパズルやぬりえの実施

第10回 (令和4年度)	・綱島花と緑の歴史ツアーを初めて実施 ・イベント広報を兼ねたウェットティッシュを配布する等、感染症対策を実施しながら、従来の形(4・5月、各月3日間)のイベントを開催 ・ガーデンネックレス横浜のキャラクター「ガーデンベア」、港北区のマスコット「港北区ミズキー」とコラボレーションしたスタンプラリーや、ガーデンベアのフォトスポットを実施 ・港北オープンガーデン運営委員会が港北区民表彰を受賞(令和5年1月)
第11回 (令和5年度)	・菊名花と緑の歴史ツアーを企画(雨天のため中止) ・交流会にて横浜イングリッシュガーデンスーパーバイザーの講演及びガーデンの見学を実施
第12回 (令和6年度)	・LINE公式アカウントを活用したイベントの周知を実施 ・交流会にて横浜市イギリス館での演奏会と講演会、港の見える丘公園での庭園見学を実施 ・菊名 花と緑の歴史ツアーを初めて実施 ・区内3か所で港北区ミズキーのグリーティングを開催 ・特設案内所にて「GREEN×EXPO 2027」のPRを実施
第13回 (令和7年度)	・GREEN×EXPO 2027開催2年前イベントの一環として港北オープンガーデン交流会を実施 ・GREEN×EXPO 2027と連携したのぼり旗を作成、案内所や会場で掲示 ・大倉山 花と緑の歴史ツアーを初めて実施 ・区役所中庭でイベント開催日に合わせて野菜や花の直売会をJA協力のもと実施
第14回 (令和8年度)	・横浜グリーンエキスポ開催1年前企画として、港北オープンガーデン講演会&交流会を実施 ・横浜グリーンエキスポと連携した花壇用プレートを作成し、全会場で掲示 ・新横浜ルート案内ツアーを初めて実施 ・イベント開催日に合わせ、区役所中庭にて直売会の実施とキッチンカーの出店 ・オープンガーデンフォトコンテストを初めて実施



■港北オープンガーデン運営委員会 委員

荒巻喜代子(サブリーダー)・飯島勉・小沼博之・田邊伸子・中村文太郎(リーダー)・真島淳子・山本加枝子・吉田多恵子・吉原智恵子

【お問い合わせ】

港北オープンガーデン運営委員会事務局

港北区区政推進課 石田・堤・大橋

電話:045-540-2229 FAX:045-540-2227

Email:ko-kohokuopengarden@city.yokohama.lg.jp